様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　1

施 策 名	担当課名
１　活動環境整備のための施策 （１）活動場所の確保・充実	福祉課、情報システム課 管財契約課、生活活性課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・公共施設の減免が増えたことはよいことである。
・センター登録制度を利用しての活動場所がウィズ豊川とボランティア・市民活動センタープリオが使用できるようになり利用しやすくなった。
・ボランティア・市民活動センタープリオの開設により、一般市民への活動周知も少しずつされてきている。
・拠点となるセンターについては、充実してきている。
・センター登録団体数も増加しており、ボランティア・市民活動センタープリオ等が無料で使用できるようになるなど、市民活動が推進されている。

２　問題点・課題とその改善策

・拠点についての活動場所の問題より、市民の活動場所（あらゆる施設）の利用について把握し、課題を見出すことが大切。
・種々サービスの提供は充分であるが、果たしてその効果は？
・利用できる活動場所の周知が不十分。
・周知方法については、すべての市民がインターネットを利用できるわけではないので、町内会組織を利用した周知方法などが必要。
・センタープリオの団体活動室が有効利用されていない。
・ウィズの駐車場問題については、満車回数が思っていたほど減っていないのではないか。引き続きプリオにある市の施設についての市民への周知をはかることが必要。
・地区市民館等もボランティア登録団体は無料で出来るようになることを望む。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　２

施 策 名	担当課名
１　活動環境整備のための施策 （２）市民活動情報の提供と団体交流の推進	生活活性課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・「とよかわボランティア・市民活動センターだより」を全戸配布はとても情報収集、提供として多くの市民の目につく方法で効果があると思う。
・ホームページも充実している。
・どすごいネットでの情報提供はネット社会に対応している。タイムリーな情報提供。
・将来を見据えた東三河各市との連携は良い。

２　問題点・課題とその改善策

・インターネットは自分から探しに行かなくては見つけられないことがある。どのくらいの人が利用しているのか。自分の周りでは利用できない人が多い。その気もない。紙による提供も残してほしい。
・各 HP の内容が古いものを掲載したままになっている。改善が必要。
・どすごいネットの各団体の情報が古いところがある。更新を促していく。
・「みてみん」と「どすごいネット」の相互利用（各団体が２つに情報を載せるのは難しい。）ができるようにする。
・３６７団体の登録がある中で、もっと自分のところを積極的にアピールできる交流会ができるとよい。
・団体間の交流については必要であるが、できれば他団体と協働事業が出来るようなコーディネートがあると良い。
・地縁組織とボランティア・市民活動団体とののコラボレーションについては、課題から検討していく必要がある。
・おいでん祭での活動紹介ブースが狭すぎ。
・行政は受身ではなく、積極的に前に出る必要がある。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　３

施 策 名	担当課名
１　活動環境整備のための施策 （３）資金的な支援制度の整備	企画政策課 生活活性課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・ボランティアユニホーム等購入費補助については、毎年多くのボランティア団体が利用しており効果が感じられた。
・寄付行為を行いやすくする方法を、先進都市の取り組みで研究する。今後も継続を望む。
・運営支援補助金制度は大変に良い制度である。

２　問題点・課題とその改善策

・運営支援補助金制度の利用頻度が低いのでは。
・ＰＲ不足
・有効な資金助成制度を検討し、利用を促せるよう改善が必要。
・助成金については、もっとわかりやすくしてはどうか？

総合評価	前年度評価
A	A

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　４

施 策 名	担当課名
１　活動環境整備のための施策 （４）人材育成と組織運営の支援	生活活性課 講座実施各課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・人材育成の講座数が充実してきている。
・人材育成講座やボランティア養成講座を実施して、フォローアップをする体制の整備は、効果が十分にあった。
・充分です。

２　問題点・課題とその改善策

・人材育成については、あらゆる年代層にむけての検討が必要。また、育成した人材についてのフォローアップが大切である。
・講座定員と、申込み数の関係は検証する必要がある。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　５

施 策 名	担当課名
１　活動環境整備のための施策 （５）保険制度の整備	生活活性課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・市民活動総合補償制度については、大変整っていると感じる。
・補償制度は連区町、町内会長などへの周知から安心な活動に役立っている。
・補償制度のＰＲは効果有り。
・活動の安心！！充分です。

２　問題点・課題とその改善策

・ボランティア保険との関係はどうか。（この保険があるからボランティア保険へ入る必要はないと考えることはないか）
・「ボランティア」の意味の定義を市民活動者、市民に周知する必要があるのでは？
・「有償ボランティア」にした時のデメリット（ボランティア保険が使えない）の周知をする。
・有償ボランティアの保険は自前が原則でよい。
・色々な団体に使えることをさらに周知してほしい。

総合評価	前年度評価
A	A

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　６

施 策 名	担当課名
２　活動参加促進のための施策 （１）活動機会や学習機会の提供	環境課、生涯学習課、生活活性課、講座実施各課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・子供から大人まで、学習機会（講座数）はいろいろあって良い。
・参加体験型ボランティア学習プログラムは、子どもたち自身ができることは何か考える機会を提供することに効果があった。
・人材育成講座、オープンカレッジは効率的な事業運営ができた。

２　問題点・課題とその改善策

・講座の企画については、担当課となっている部署との連携が必要。参加しやすい企画の提案なども募集すると良いかと思われる。
・機会の提供があっても、人が集まらないものもある。参加人数の拡大の工夫も必要。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　７

施 策 名	担当課名
２　活動参加促進のための施策 （２）活動情報のＰＲ	情報システム課 生活活性課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・活動情報は、広報、ボランティア・市民活動センターだよりで提供はできている。
・センターだより、どすごいネットでの情報提供は、広く市民にＰＲできた。

２　問題点・課題とその改善策

・市の HP については、活動の推進を目指しているとは思えない。トップページに市民の活動意欲向上をはかるバナーがあっても良いと考える。見やすい情報 PR が必要。
・どすごいネットについては、利用の促進を検討するべき。
・「どすごいネット」に頼るには、登録数がいかにも寂しい。ＰＲ不足。
・どすごいネットの情報が古い団体がある。タイムリーな情報の掲載を促す必要（もしくは古い情報の消去）がある。
・団体によっては、ＨＰ（パソコン）を使いこなすことの出来ない団体もあると思います。その辺りのフォローも必要。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　８

施 策 名	担当課名
２　活動参加促進のための施策 （３）地域の市民活動の促進	道路維持課、地域安心課、生活活性課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・地域では防犯や福祉活動などが行われている。

２　問題点・課題とその改善策

・アダプトプログラムについては、ある一定の期間大変盛り上がっていたが、最近ではあまり市民への周知がないように思う。
・地縁組織の活性については、課題から考える必要がある。
・地域住民の活動の在り方を検討する機会を創出した方が良い。
・青年団など以前より存在した団体など（他にも存在した団体）が消滅してきている危機感を持ち検討することが大切。
・地域での活動は、なかなかなり手がいない。何か魅力が見いだせないか。
・PTA、子供会等の役員もなかなか決まらず、まして役が終わった人に引き続き地域活動に携わってもらうのは難しい。
・町内会に入るのに、金銭が必要であるらしい。無料にすれば町内会に入会する人が増えて市民活動が促進されるのではないか。
・入ってよかった！！「魅力ある町内会づくり」で町内会加入の促進を。
・町内会加入への促進を図っていることは感じられたが、成果が顕著に出ているとは感じられない。
・町内会長の力量によって、町内活性化に格差が生じている。各年度毎の町内会長に対して地域のリーダーとしての役割を確認してもらうよう指導する。
・市としての、町内会組織の取りまとめは充分。後は、それぞれの町内会の意識の問題では・・・。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

No.　9

施 策 名	担当課名
２　活動参加促進のための施策 （４）参加しやすい環境整備	生活活性課 講座実施各課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・参加しやすい環境を提供してきたと感じる。
・多くの講座があり参加しやすくなっている。
・様々な参加しやすい講座が実施された。
・協働相手、協働体制は妥当であった。
・開催日の配慮、託児の実施は良い。

２　問題点・課題とその改善策

・時間や曜日などの検討に、一日中講座を開催しなければならない講座なのかという観点も入れた方が良い。
・全ての講座に託児の設置を希望する。
・まだまだ全体的に受講参加者が少ない。ＰＲ不足。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№.　１０

施 策 名	担当課名
３　協働推進のための施策 （１）情報の公開・人材登用	全庁

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・様々な情報の公開は図られていたと感じる。
・穂の国まちづくりネットワークへの委託により今まで以上の情報の収集、公開ができている。

２　問題点・課題とその改善策

・行政の開催する講座、イベントなどの情報を拠点となるセンターと協働して、よりよく連携できる仕組みづくりが必要。
・旧生活活性課のホームページがあることを知らなかった。
・協働のやり方を「まんが」を取り入れた手引きを作成すると、市民への理解が深まるのではないか。
・市民活動者の登用は、地域に平等な配慮が必要。
・イベント等で、市の後援等事業については、情報の発信・公開を積極的にお願いします。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№　１１

施 策 名	担当課名
３　協働推進のための施策 （２）協働推進体制の整備	生活活性課 協働事業実施各課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・協働の手引きの研修は毎年継続されている。
・団体交流会も年３回開催されている。
・職員を対象にした協働の研修会を実施したことは、本目的を達成するのに効果大と思われる。

２　問題点・課題とその改善策

・協働の理解を深める研修会は今後も必要と感じる。
・団体の協働への理解には、努力が必要で団体の温度差があるから難しいと感じるが、体制の整備には理解が必要なので皆で考える機会を提案すると良いと思われる。
・団体交流会はそれぞれの分野を分けて行い、行政も入って、洗い出しされた事業に対して協働事業に持っていけるように、一緒のテーブルにつけるとよい。
・まだまだ独自に活動している団体が多くあり、協働の周知が必要。例えば、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、ＪＣ等々これらのクラブでは、自前の資金で市民の為に相当な事業を毎年行っている。協働すれば効果は倍増。

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№　１２

施 策 名	担当課名
３　協働推進のための施策 （３）協働推進に向けての意識啓発	人事課 生活活性課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・協働の研修会は毎年続けていってほしい。

・市職員がＮＰＯ短期派遣研修を実施したことは、協働相手を知る意味でも、効果は大と思われる。

２　問題点・課題とその改善策

・意識啓発については、まだ不十分であるため、周知する機会を増やすことが必要。

・行政職員にさまざまなボランティアの情報が流れているのか調査することも重要である。

・市民、行政職員、両方が同じ方向を向かないと協働はできない。ボランティア体験を通して協働について考えてみてもいいのではないか。

・研修会先につては、社会福祉法人経営の諸施設の活用もすべきでは。

・ボランティア休暇制度は果たして現実化しているのか。

・研修会、講座の参加者が少なすぎ。効果は？

総合評価	前年度評価
B	B

様式３

平成２４年度　とよかわ市民活動活性化施策評価票（委員会評価）

№　１３

施 策 名	担当課名
４　施策推進に向けて （１）実施計画の進捗状況について評価、公表、改善	生活活性課 各課

【市民協働推進委員会評価】

１　目的達成度・効果

・評価を市民と市で行ったこと。又、その結果を情報公開したことは、今後の事業の推進に大きくつながる。

２　問題点・課題とその改善策

・メディアをもっと活用して活性化にむけて広報した方が良かったのではないかと考える。
・市民にも行政にも企業にも興味をもってもらえるような方策を考え、公表をした方が良いと思う。真剣に取り組まないと新規事業もよりよく生まれてこない。
・評価する施策数１３は適当であるが、事業数が４３もあるのは簡潔にしてはどうか。
・事業の実態、現場が分からないなかでのこの評価は大変難しい。
・評価方法を設問形式にしてみてはどうか。

総合評価	前年度評価
B	B